

講演名	平成19年度 夏期研修会 ～北の技術を語り継ぐ 講演1:「JR北海道の経営概要と冬期における当社独自の取り組みについて」 講演2:「デュアル・モード・ビークル (DMV) の開発と今後の展望」
講演者	講演1: 北海道旅客鉄道株式会社 経営企画部 主幹 小澤 直正 氏 講演2: 北海道旅客鉄道株式会社 技術創造部 部長 佐藤 巖 氏
日時・場所	平成19年7月27日 15:00～ (KKRホテル札幌)
講演概要	

■ 夏期研修会 ～北の技術を語り継ぐ

この「北の技術を語り継ぐ」は、素晴らしい功績を成し遂げた先輩技術者が、技術的課題や障害をどのように克服していったのか、そのお話を聞き、我々青年技術士が次世代に語り継いでいこうという企画です。

今回は2名の方にご講演いただきました。はじめに、当青年技術士交流委員会の幹事でもある小澤直正氏に、「JR北海道の経営概要と冬期における当社独自の取り組みについて」と題して、北海道旅客鉄道株式会社がデュアル・モード・ビークルの開発に取り組んだ背景や、寒冷地にある鉄道会社特有の冬期対策についてご講演いただきました。その上で、実際にデュアル・モード・ビークルの開発を手がけられた佐藤 巖氏に「デュアル・モード・ビークル (DMV) の開発と今後の展望」と題してご講演いただきました。今話題のDMVについて、開発の歴史や目的、実用化に向けた取り組み、さらには平成19年4月から始まった釧網線における試験的営業運行の概要と今後の展望など、内容の濃い講演会となりました。

■ 意見交換会

意見交換会では、研修会とは違った雰囲気でご講演者を囲んでの会話や、出席者同士の情報交換のざっくばらんな話に花が咲きました。

なお2次会では、別件で札幌にいらっしゃっていた中部青年技術士会の幡野理事長と坪内副会長にご参加いただき、地域を超えて、技術士間の交流を深めました。



小澤直正氏による講演



ご講演いただいた佐藤 巖氏



講演会の様子